

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
1101	つどいの広場事業の拡充	主に乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、相談や情報提供、各種の子育て講座などの実施により、仲間づくりと育児不安を解消し、安心して子育てができるよう、地域バランスに留意しつつ、つどいの広場を整備します。	つどいの広場会議を月1回のペースで実施、情報交換を行い、必要事項の共通理解を図りました。 子育てプレイルーム利用者数 37,916人	こども課
1104	地域子育て支援センターの充実	育児不安の解消や子ども同士・親同士が交流するため、保育所に通園していない地域の親子に保育所を開放し、育児相談、遊び場の提供、育児サークルの支援などを行います。	民間保育所3か所で地域子育て支援拠点事業（一般型）を実施しました。たよりの発行や行事へのお誘いを通して子ども同士の交流、親の情報交換の場所を提供しました。	保育課
1103	狭山市総合子育て支援センターの充実	親子交流の場を運営するほか、狭山市の子育て支援の中核拠点として子育て支援の環境整備と子育て情報の収集・提供に努め、総合的なマネジメントを行い、地域との関係作りを進めます。	乳幼児を持つ子育て中の保護者を中心に、親子が気軽に集い交流できる場を提供し、子育てに関する情報の提供・発信及び子育て講座を開催、子育て相談に応じ、必要に応じて関係機関と連携して支援を行いました。 利用者数 22,104人	こども課
1104	園庭開放事業	保育所に通園していない地域の親子にも保育所を開放し、育児相談、母親同士の交流、保育所の子どもの交流、保育所行事の体験を呼びかけるなど保育所の特性を生かしながら、地域の親子への支援します。	各保育所で園庭開放を実施し、延べ371組（723人）が、保育所での遊びや行事等を通じて職員・園児と交流するとともに、保育所を知ってもらう機会としました。また、子育て相談等がある保護者には、個別に対応しました。	保育課
1104	園庭開放事業	幼稚園の園庭を開放し、園児と地域の子ども、子育て家庭同士の交流を図るとともに、地域の子育て家庭からの相談に応じるなど、幼稚園環境を活かした地域との交流活動を行います。	市立幼稚園2園において、地域交流事業を実施し、526人の参加がありました。幼稚園の園庭を開放し、遊びや文化体験を通じて園児と地域の子どもの交流を図るとともに、地域の子育て家庭からの相談に応じ個別に対応しました。	学務課
1105	子育て相談事業の充実	狭山市総合子育て支援センター、家庭児童相談室、保健センターなどの機関が連携し、相談に応じます。	家庭児童相談室では、5,356件の相談を受けました。総合子育て支援センターでは、面接を190件、電話相談を117件受けました。	こども課
1105	子育て相談事業の充実	狭山市総合子育て支援センター、家庭児童相談室、保健センターなどの機関が連携し、相談に応じます。	各保育所において、在籍している児童の保護者からの相談に随時対応し、内容によっては家庭児童相談室、保健センター、総合子育て支援センターに連絡をして情報の共有を図りました。	保育課
1105	子育て相談事業の充実	狭山市総合子育て支援センター、家庭児童相談室、保健センターなどの機関が連携し、相談に応じます。	保健センターでは、健診や各種教室にて育児相談を受ける他に、面接を1,160件、訪問を761件実施しました。	保健センター
1106	子育てパパ・ママ応援事業	児童館において子育て家庭の乳幼児をボランティアなどとの協働により一時的に預かる間、保護者にプラネタリウム鑑賞、工芸製作事業や子育て講習会参加の機会を提供することで、保護者の気分転換や精神的負担の軽減及び子育て不安の解消を図ります。	子育て応援事業を年32回実施し、662組の参加がありました。	こども課
1107	子育て支援に関する意識啓発	子育てボランティアや子育てに関する情報を広報紙やホームページなどで広報し、市民一人一人が子育てについての意義を認識し、地域全体で子育てを応援していくための意識を啓発します。	様々な情報を広報紙やホームページ、掲示板に掲載し、啓発に努めました。	こども課
1108	一時保育の充実	保育所に通園していない家庭でも、保護者の急病や冠婚葬祭、育児疲れの解消、パート就労などの理由から、家庭での保育が困難な場合に、保育所で一時的に子どもの預かり保育を行います。	総合子育て支援センター内の一時預かり事業（ちゃっぼ保育室）を含め、15か所で一時預かり事業を実施し、一時的に保育が困難になった家庭の支援を行いました。ちゃっぼ保育室は、10月より1時間の利用金額を700円から300円に減額、週3日の利用も撤廃し、更に利用者の拡大を図りました。	こども課・保育課
1109	短期入所生活援助事業（ショートステイ）の実施	保護者が病気などにより、一時的に養育が困難になった場合、児童を児童養護施設などにおいて短期間（7日間程度）預かります。	利用実績なし。	こども課
1110	ファミリー・サポート・センター事業の充実	子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人を会員とする組織により、保育所などへの送迎、一時的な預かりなど育児についての助け合いを行います。	会員数：795人 活動件数：延べ3,090件 活動時間数：延べ3,261時間	こども課
1111	産前・産後ヘルパー派遣事業の充実	育児負担の軽減を図るため、妊娠中や出産直後の世帯にヘルパーを派遣し、育児や家事を援助します。	利用者延べ13人	こども課
1112	児童手当支給事業	国の児童手当制度に基づき、中学生までの児童の養育者に対し、児童手当を支給します。	国の児童手当制度に基づき、中学生までの児童の養育者に対し、児童手当を支給しました。 支給児童数（延べ人数） 194,302人	こども課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
1113	子育て家庭優待制度の周知	中学生までの子どもや妊娠中の方がいる家庭を応援するため、お店で割引などのサービスが受けられる「パパ・ママ応援ショップ優待カード」を配布します。	平成31年3月31日まで延長されました。母子健康手帳交付時及び子ども課、総合子育て支援センター、地区センター窓口で優待カードを発行しました。	こども課
1201	子育て支援に関するネットワークの構築	必要な情報やサービスが必要な人に届くよう、行政、市民ボランティア、民間事業者などが連携し、人、情報、サービスが一体となった子育て支援ネットワークを推進します。	平成24年5月さやま子育て支援ネットワーク設立。平成28年3月末現在31団体が加入しています。ネットワークたよりの発行や交流会・パネル展・さやま子どもフェスタ等を開催しました。	こども課
1201	子育て支援に関するネットワークの構築	さやま子育て支援ネットワークの充実のため、引き続き社会教育の立場から支援していきます。	さやま子育て支援ネットワークの充実に向けて、社会教育の立場から側面的な支援を行いました。	社会教育課
1201	子育て支援に関するネットワークの構築	必要な情報やサービスが必要な人に届くよう、行政、市民ボランティア、民間事業者などが連携し、人、情報、サービスが一体となった子育て支援ネットワークを推進します。	さやま子育て支援ネットワークの充実に向けて、必要に応じて社会教育の立場から支援しました。	公民館
1202	子育てに関する地域交流サイトの構築	地域に密着した子育てに関する行政情報、民間情報、市民情報を双方向で総合的に取り扱うサイトにより、情報を介した子育てに関する市民交流を推進します。	さやマルシェ内に、さやま子育て支援ネットワークのページを作成し、各団体の情報の発信等を行いました。	こども課
1203	キッズページの充実	毎週火曜日に「週刊さやまっ子ニュース」を配信します。教室やイベントなども更新するとともに内容を充実します。	毎週火曜日に「週刊さやまっ子ニュース」を配信しました。また、教室やイベントなども配信し、ほぼ毎日更新しました。さらに、更新情報を拡散するため、公式ツイッター等を活用し、一層の周知に努めました。	広報課
1204	子育て情報の提供	市公式ホームページやモバイルサイト、地域ポータルサイトで、子育てサービスに関する情報を分かりやすく提供します。子育てガイドブックを継続的に発行します。	公式ホームページに事業の情報や実施報告を掲載し、周知しました。月1回ちやっぼ通信を700部発行し、子育て支援団体等の情報を提供しました。また、子育てガイドブックを配布しました。	こども課
1205	乳児家庭全戸訪問事業 (こんには赤ちゃん事業)	地域ぐるみの育児支援の推進のため、民生委員・児童委員による乳児家庭全戸訪問を実施します。	生後2か月時点の乳児家庭の全戸訪問 依頼件数：978件 面会数：927件 面会率：94.78% 訪問者向け研修開催：各地区1回	保健センター
1206	乳幼児すこやか訪問事業	乳幼児すこやか訪問員を委嘱し、乳幼児健康診査の未受診児家庭を訪問することにより、地域での育児支援を支援します。	乳幼児健康診査3種の未受診児世帯訪問 訪問数：92件 未受診児把握率100%	保健センター
1207	大学との連携による子育て支援施策の研究	市内や近隣の大学と連携して、専門知識や情報を活かし、地域の実状に即した独自の子育て支援を実施します。	要保護児童対策地域協議会の事例検討会のスーパーバイザーとして日本社会事業大学専門職大学院の准教授に依頼したほか、機関マネージャー研修会の講師として埼玉県立大学の教授に依頼しました。	こども課
1208	ベビー用品の再利用化	ベビー用品の再利用に関する啓発を行い、ベビー用品の持ち込み・再利用を促進します。	ベビー用品の再利用促進を図りました。 受け入れ：217件 頒布：170件	セ&富環境
1209	企業との連携による子育て施策の検討	市内各事業所と、子育て支援施策について情報交換し、子育て支援施策についての検討を促進します。	国や県が作成したパンフレット等を関連機関に配布し、情報提供と啓発に努めました。	商興工業課
1301	子育てボランティアの養成	身近な地域における子育てのサポートや育児に悩みや不安を持つ保護者に対して気軽に相談に応じるボランティアをさやま市民大学なども活用し養成するとともに、ボランティアの活動の場をコーディネートします。家庭教育学級、すこやか子育て講座などの場において、埼玉県家庭教育アドバイザーを活用します。	子育て中の親をサポートすることを目的として、さやま市民大学「パパ・ママのお助け隊養成講座～乳幼児期～」、「パパ・ママのお助け隊養成講座～学童期～」を開講し、両講座あわせて50名の修了生を輩出しました。修了生たちは子育て関連のNPOや関連団体に加入し、地域での活動を開始しました。	協働自治推進課
1301	子育てボランティアの養成	身近な地域における子育てのサポートや育児に悩みや不安を持つ保護者に対して気軽に相談に応じるボランティアをさやま市民大学なども活用し養成するとともに、ボランティアの活動の場をコーディネートします。家庭教育学級、すこやか子育て講座などの場において、埼玉県家庭教育アドバイザーを活用します。	救急救命、食育等のスキルアップ講座を年4回実施し、延べ8人が参加しました。 ボランティア登録者 21人	こども課
1301	子育てボランティアの養成	身近な地域における子育てのサポートや育児に悩みや不安を持つ保護者に対して気軽に相談に応じるボランティアをさやま市民大学なども活用し養成するとともに、ボランティアの活動の場をコーディネートします。家庭教育学級、すこやか子育て講座などの場において、埼玉県家庭教育アドバイザーを活用します。	家庭教育学級、すこやか子育て講座等の場において、埼玉県家庭教育アドバイザーの活用を図りました。	社会教育課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
1301	子育てボランティアの養成	身近な地域における子育てのサポートや育児に悩みや不安を持つ保護者に対して気軽に相談に応じるボランティアをさやま市民大学なども活用し養成するとともに、ボランティアの活動の場をコーディネートします。家庭教育学級、すこやか子育て講座などの場において、埼玉県家庭教育アドバイザーを活用します。	各公民館で、子育て世代を対象とした講座等を実施して、人材育成に努めるとともに、子育て支援サークルや地域団体に対して、活動場所や機会の提供などの活動支援を行いました。	中央公民館
1302	地域子育て支援事業の支援	自治会や個人などが地域で自主的に行う子育て広場などの子育て支援活動を支援します。	子育て支援活動を行っている団体に職員を派遣し実技支援を行いました。 職員派遣 年20回、延べ25人	こども課
1303	子育てサークルの支援	子育てサークルの立ち上げ支援のほか、必要な情報を提供するとともに、活動する場所や機会の確保、子育て支援を行うボランティアの紹介など、サークルの自主的活動を尊重しつつ、サークルの運営を支援します。	子育てサークル4団体に貸館を行い、場の提供と支援を行いました。年間の貸館数18回 延べ237人が利用しました。	こども課
1303	子育てサークルの支援	子育てサークルに対し、一定の要件を満たす場合、公民館や集会所の使用料を免除します。	公民館等使用料免除制度に基づき、免除登録審査会を開催し、申請を受けた団体の審査を行いました。平成28年度分として、子育てに関するサークル1団体を免除団体として認定しました。 各公民館で、活動場所や機会の提供を実施しました。	中央公民館
2101	妊婦前から開始する健康管理の推進	健やかに安全に子どもを産み育てるための女性の身体管理に関わる骨粗しょう症検診、子宮頸がん検診を実施します。	骨粗しょう症検診と子宮がん検診を実施しているが、出産を経験していない方の人数は把握していません。	保健センター
2102	妊婦健康診査事業の充実	費用の助成を行い、妊娠中の母体の健康の保持増進、疾病の早期発見を目的に実施します。	公費負担14回(超音波検査4回分含む)。 委託医療機関外での受診に対し助成金制度で対応しました。 申請件数：60件	保健センター
2103	妊婦期における健康管理の推進	早期妊娠届出の周知をします。 知識の普及啓発と仲間づくり、父親の育児参加促進のためマタニティスクール、両親学級を実施します。	マタニティスクール：6コース 参加者：延べ228人(父親14人含む) 両親学級：6回 参加者：89組 マタニティスクールと育児学級の交流設定しました。	保健センター
2104	周産期からの相談・支援の充実	関係機関と連携しながら妊娠期から相談・支援を開始します。	新生児・妊産婦訪問(助産師委託分) 産婦：延べ315人 新生児(乳児含む) ：延べ318人 連絡会：12回 未熟児訪問指導事業訪問数 ：実39人	保健センター
2201	乳幼児健康診査事業	子どもの疾病の早期発見や成長発達の確認、相談に応じる育児支援として4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施します。	保健センターでの集団健康診査を各16回実施しました。 受診率 4か月児 97.11% 1歳6か月児 97.15% 3歳児 96.94%	保健センター
2202	予防接種事業	感染症対策の一環として、予防接種法に基づき各種の予防接種を実施します。 広報紙や市公式ホームページなどを活用し、最新の感染症情報を提供します。	BCG接種者数：997人 麻しん風しん混合接種者数：2,056人 水痘接種者数：2,114人 予防接種について、広報誌、ホームページで情報提供を行い、接種率の向上に努めました。	保健センター
2203	相談の充実	子どもの発育・発達、栄養、歯科、健康などに関する相談として乳幼児健康相談や予約相談及び家庭訪問を行います。	乳幼児特別相談：11回、延べ18人 てんとう虫の会：6回、延べ9人 発育発達相談：12回、延べ34人 未就学児施設職員研修：1回	保健センター
2204	育児学級事業	子育てや栄養学級の知識を普及・実践し、地域の中での仲間づくりを促進するため育児学級を実施します。	8コース 参加者：延べ169人 関連機関との情報交換については、乳幼児健康診査時に変更しました。	保健センター
2205	保健教育の充実	子どもの健やかな育ちに関する知識の普及教育を図ります。	保健教育(主催)：16回 参加者：延べ973人 ・事故防止啓発 ・予防接種接種勸奨 保健教育(依頼)：13回 参加者：延べ181人	保健センター

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
2206	栄養教育の充実	子どもの発達段階や個性、母子の健康状態、家族の状況などに応じた適切な食生活を営む力を高めるため、乳幼児健康診察時の小集団指導(4か月児健康診察時の離乳食講習会、1歳6か月児健康診察時のおやつ指導、3歳児健康診察時の生活リズム教育)と地域における栄養教育を実施します。	栄養教育(主催)：90回 参加者：延べ3,162人 栄養教育(依頼)：10回 参加者：延べ241人	保健センター
2207	歯科教育の充実	むし歯予防デーを実施し、歯科検診、歯みがき指導、フッ化物塗布を行います。 乳歯の重要性を含めた口腔衛生やフッ化物に関する正しい知識の普及のため、乳幼児健康診察時の小集団指導(4か月児健康診察時の歯の話、1歳6か月児健康診察・3歳児健康診察時の歯磨き指導)と地域における歯科教育を実施します。	歯科教育(主催)：48回 参加者：3,498人 歯科教育(依頼)：26回 参加者：延べ1911人	保健センター
2208	相談体制の充実・強化	必要な専門職の配置をすすめ、より質の高い相談支援が提供できるよう研修開催や職員の研修参加を進めます。また、連携体制強化を図ります。	乳幼児特別枠相談：11回、延べ18人 てんとう虫の会：6回、延べ9人 発育発達相談：12回、延べ34人 未就学児施設職員研修：1回	保健センター
2301	「主食、主菜、副菜」料理の組み合わせと望ましい生活リズムづくりの普及啓発	「主食、主菜、副菜によるバランスの良い食事」と望ましい生活リズム、共食について、理解・実践を図るため、乳幼児検診時の栄養教室や関係機関との協働事業を実施します。	児童館等から依頼された栄養教育：10回241人 3歳児健康診察での生活リズム教育：16回1,076人 1歳6か月児健診でのおやつ教育：16回864人 離乳食講習会：28回1,032人 小学校就学児の保護者にリーフレットを配布 三食規則正しく食べていない子→5.2% 小学1年、5年、中学1年生生徒に啓発のリーフレットを配布しました。	健康推進課・保健センター
2302	地産地消に関する意識啓発	地産地消(地域で生産された農作物を地域で消費すること)を通じて、地域を理解するとともに、食の大切さを学べるよう新茶まつり、農業祭などを行います。 狭山茶消費拡大事業として、小学生を対象にお茶の作り方教室、入れ方教室、T-1グランプリなどのイベントを行います。	農業イベント(狭山新茶と花いっぱいまつり、狭山市農業祭)を開催し、地場農産物のPRと農業への理解を図りました。また、年間を通して、お茶の作り方教室、入れ方教室を開催し、3月13日(日)にT-1グランプリを実施し、狭山茶について学び、急須で飲むお茶のおいしさを体験しました。	農業振興課
2303	給食などを通じた食育の推進	保育所における食育：公立保育所全体の食育計画を策定し、発育・発達段階に応じた豊かな食の体験を積み重ねていくことにより、生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送ることを基本とした食事教育を推進します。	各保育所の畑で栽培、収穫した野菜を使ってクッキングを行うなど食に対する子どもたちの興味・関心を高めるため食育計画に沿った保育活動を取り入れ実施しました。	保育課
2303	給食などを通じた食育の推進	特別活動や家庭科の授業などにおける食育：「主食、主菜、副菜」を基本とした食事のあり方や栄養の正しい摂取方法などの理解を深めます。	「親子の絆『お弁当の日』」を3回実施 5月20日(水) 11月18日(水) 2月3日(水) 食に関する指導実施校 小学校15校 中学校9校 (100%) 特別活動や家庭科の授業等で、栄養教諭や給食センター、保健センターと連携を図り、食に関する指導を実施しました。	教育指導課
2303	給食などを通じた食育の推進	学校給食の献立における食育：献立表に「主食、主菜、副菜」を表記し、児童生徒や保護者に対して健康を保つうえで基本となる料理の組み合わせを啓発します。 地産地消を通じて、地域への理解を深めるため、地域で生産された農作物を積極的に使用します。 食物アレルギーのある児童生徒にアレルギー対応食を提供します。	「たべものニュース」のアンケート結果を給食だより9月号と3月号に掲載しました。また、食物アレルギー対応食は、昨年と同様に提供しました。	給食センター 入間川学校
2304	農業体験学習	自ら農作物を栽培することで、自然に対する感謝の心を育み、勤労の尊さと食料生産に対する認識を育みます。	狭山市学童農業体験事業及び狭山市学童農業体験指導農業者連携推進事業を通じて学童の農業に対する認識を育てるとともに、11月22日(日)に開催された「狭山市農業祭」で、農業体験事業の活動の様子や、収穫物を発表しました。	農業振興課
2304	農業体験学習	各保育所において、野菜などの栽培、収穫した作物のクッキング、種の収穫などを体験することで農作物への関心を高め、労働および食べ物への感謝の気持ちを育みます。	農業振興課の協力のもと、各保育所において、野菜などの栽培、収穫した作物のクッキング、種の収穫などを体験し、作物や花を育てる喜びを経験しました。また、収穫した野菜を家庭に持ち帰り、家族で味わう機会をつくりました。	保育課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
2304	農業体験学習	各学校に設置されている学校ファームで農業体験学習を実施します。	学校ファーム設置校 小学校 15校 中学校 9校 (100%) 農作物等の栽培活動実施校 小学校 15校 中学校 9校 (100%) 地域の特色を活かし、農業体験学習を実施しました。	教育指導課
2305	食文化の体験と伝承	地域の伝統的な食文化を保育所の食育計画に位置付け、行事や給食を通じて伝承します。	伝統的な行事等で食文化に触れる機会を保育活動に計画的に取り入れました。	保育課
2305	食文化の体験と伝承	地域の伝統的な食文化を学校給食の献立に取り入れます。	給食の献立を日本的な主食・主菜・副菜を取り揃えたものにしました。	給食センター
2401	性、性感染症予防教育の充実	全小中学校で、性、性感染症予防教育を実施します。	性に関する指導実施校 小学校 15校 中学校 9校 (100%) 保健及び保健体育の授業で性に関する指導を養護教諭等と連携を図り実施しました。	教育指導課
2402	飲酒・喫煙、薬物などに関する意識啓発	喫煙(受動喫煙を含む)、飲酒、薬物が与える危険性を理解するために「青少年を育てる狭山市民会議」や「地域会議」と連携し、非行防止キャンペーンなどを通して普及・啓発をします。	狭山市青少年問題協議会において、「ネット社会での子育て」と題し講演会を行いました。 また、七夕まつり会場で青少年を育てる狭山市民会議が更生保護法人埼玉県更生保護観察協会狭山支部、所沢地区保護司会狭山支部、狭山市更生保護女性会と共催で青少年非行防止キャンペーンを実施しました。	こども課
2402	飲酒・喫煙、薬物などに関する意識啓発	全校において薬物乱用防止教室を学校保健安全計画に位置付け、警察署や各種機関と連携し実施します。	小中全校において薬物乱用防止教室を学校保健安全計画に位置付け、警察等の関係機関と連携して実施しました。(100%)	教育指導課
2403	養護教諭の活用によるチーム・ティーチング(TT)	各学校の実態に応じて年間指導計画に位置付けて実施します。	病気の予防や歯科指導等の健康教育を年間指導計画に基づき実施しました。 学級活動や保健指導、保健や保健体育の授業において、積極的に養護教諭を活用して健康教育の充実を図りました。 養護教諭とのチームティーチング実施校 小学校 15校 中学校 9校 (100%)	教育指導課
2404	スーパーバイザーによる支援	スーパーバイザーに指導、助言を依頼し、教育センターや学校に配置している相談員の資質向上を図ります。	教育センターや中学校に配置している相談員・相談指導員を対象に外部講師を招聘し、学期に1回の研修会を実施し、資質向上を図りました。	教育センター
2405	学校教育相談の充実	子どもの健全な成長と発達を支援するため、児童、生徒、保護者を対象に教育相談を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携を図りながら支援を行います。	公立中学校にスクールカウンセラー、さやまっ子相談員、さやまっ子相談支援員を配置しました。 スクールカウンセラーにおいては、夏季等の研修会での事例研修などを通して、教師のカウンセリングマインドによる姿勢や児童へのよりよい対応について研修しました。 さやまっ子相談支援員は、各中学校区の小学校を巡回訪問し、小学校での巡回相談を実施しました。 教育センター教育相談員が各中学校相談室訪問を実施し、さやまっ子相談員等との連携を図りました。 大学准教授等による専門家の巡回支援を全小中学校にて実施し、教職員に児童生徒への対応について具体的に支援して参りました。 年3回、相談員、相談支援員などを対象にした研修会を実施し、子どもの支援対応の研修を実施しました。	教育センター・教育指導課
2501	こども医療費の助成	子どもの健全な成長と子育て家庭に対する経済的な支援を行うため、中学校3年生までを対象として医療機関にかかった場合の医療費(保険診療に係る自己負担金)を助成します。	平成23年度に対象年齢を入院・通院ともに中学校3年生までに拡大しました。 支給件数：272,746件	こども課
2502	未熟児養育医療の給付	未熟児に対する養育医療の給付により、経済的に支援します。 親への育児支援、未熟児の成長発達を見守るために相談・訪問を実施します。	給付件数39件、相談訪問件数25件	保健センター

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
2503	小児医療体制の確保	入間市と合同による夜間・休日の初期救急体制を確保します。 小児科の二次救急医療体制として、所沢地区を圏域とする小児科救急医療病院群輪番制病院運営事業により重症救急患者の医療体制を確保します。	入間市と合同で夜間・休日の初期救急医療体制の充実を図りました。 小児科の二次救急医療体制については、所沢地区を圏域とする「小児科救急医療病院群輪番制病院」として、平成27年5月から西埼玉中央病院（所沢市）が土曜日に参加、平成28年1月から日曜日は、昼間のみ週ごとに3病院が参加しており、第1週を狭山厚生病院、第3週を入間川病院、第4週を埼玉石心会病院が輪番で担当し、重症救急患者の医療の拡充を図りました。	健康推進課
2504	「かかりつけ医」・「いきつけ薬局」体制の充実	病気の症状や程度に応じた医療機関の受診ができるよう、医師会や歯科医師会、薬剤師会と連携しかかりつけ医などの必要性を市民に周知します。	健康づくり啓発事業（むし歯予防デー等）で歯科医師会及び薬剤師会等の協力により予防相談等を毎年実施しています。参加者：776人	健康推進課
3101	養育支援訪問事業	出産後間もない時期やさまざまな原因で養育が困難になっている家庭に対して、訪問して育児・家事の援助や育児に関する技術支援を行います。 傾聴、協働などを行うことにより、個々の家庭の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図ります。	2件実施しました。 のべ利用回数は25回です。	こども課
3102	要保護児童対策地域協議会の充実	要保護児童対策地域協議会などで、虐待などにより保護を要する児童の早期発見、早期対応および見守りを適切に行います。	代表者会議1回、実務者会議15回、個別ケース会議50回実施しました。要保護児童対策地域協議会の連携強化に努めました。	こども課
3103	要保護児童に対するケース・マネージメントの充実	要保護児童対策地域協議会を中心に、リスクアセスメント、ケース・マネージメントなどを充実します。	要保護・要支援児童のリスクアセスメントの見直しを図り、ケース会議や実務者会議の充実について検討しました。	こども課
3104	児童虐待防止に関する職員研修	市の保育士研修に児童虐待防止に関する研修を位置付け、全保育士を対象に研修を行います。	県や保育士会、保育協議会、社会福祉協議会等が主催する児童虐待防止に関する研修等に積極的に参加し、職員間で情報の共有を図りました。さらに、関係機関との連携強化に努めました。	保育課
3104	児童虐待防止に関する職員研修	学校教職員を対象に、児童虐待防止研修を行います。児童、生徒、保護者を対象に教育相談を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携し支援します。	県主催の「学校における児童虐待対応研修会」へすべての学校から担当教員が1名参加しました。研修結果を各学校の校内研修に活用するように働きかけました。	教育センター・
3105	里親制度の普及促進	さまざまな理由により、家庭で養育できない児童を保護者に代わって育てる里親制度を児童相談所と連携し普及・促進します。	里親制度の研修会の実施や、狭山地区里親会の事業を支援し、里親同士の交流促進を図りました。	こども課
3106	子どもの人権や児童虐待の防止に関する意識啓発	児童福祉週間や児童虐待防止推進月間に子どもの人権に関する普及活動を実施し、児童虐待の予防、児童虐待通報義務のPR、児童虐待に関する意識の向上を図ります。 要保護児童対策地域協議会の主催による「児童虐待防止に関する講演会」を開催し、子どもの人権を普及・啓発します。	11月市広報に「児童虐待防止推進週間」の記事掲載とオレンジリボンキャンペーン（リーフレット等配布）を実施しました。 また、小中学校や幼稚園・保育園の先生方を対象に、機関マネージャー研修を実施しました。	こども課
3106	子どもの人権や児童虐待の防止に関する意識啓発	学校教育と社会教育と連携し、人権教育・人権啓発を推進します。	人権教育研修会や人権教育実践研究会等の様々な人権教育・啓発事業を通して、市民の人権を尊重する意識の高揚に努めました。	課・社会教育館
3107	メディア・リテラシーの育成	児童生徒の情報活用能力をさらに向上させるため、定期的に情報モラル教育の研修会を実施します。	情報教育研究委員会では、学校の情報モラル教育についての授業実践を小学校、中学校で行いました。ICT活用授業研修会では、パソコンルームのシステムを使った情報モラル教育の研修を実施しました。技術科の授業の中でもメディア・リテラシーの育成に努めました。	教育センター
3108	適応指導教室の活用による支援	適応指導教室を活用し、不登校の児童生徒の学校復帰を支援します。	適応指導教室に入級した不登校児童・生徒の学校復帰を支援しました。生徒4人が入級し、学校復帰に向けて指導員と連携を図りました。それぞれ適応指導教室には、ほぼ休まず出席し、学校へ足を運ぶこともできました。心の面での成長と、学習面における努力が実り、在級していた3名の中学3年生は、それぞれが希望した高校への進学をはたしました。	教育センター
3201	母子・父子自立支援員や就労支援プログラム策定員による支援	母子・父子自立支援員や就労支援プログラム策定員を配置し、母子・父子家庭の自立に向けて総合的な支援します。	ひとり親家庭の自立に向けた支援を行い、就労支援プログラムを策定しました。 母子・父子自立支援相談件数：427件 母子・父子自立支援プログラム策定件数：17件	こども課
3202	ひとり親家庭に対するサービスの情報提供	ひとり親家庭に対する子育て支援ガイドブック（子育て支援のご案内）の作成・配布や市公式ホームページなどの充実により、必要な情報を提供します。	ガイドブック「子育て支援のご案内」を作成し、配布しました。	こども課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
3203	児童扶養手当制度	離婚や死別などにより、父親(母親)のいない家庭や父親(母親)が一定の障害の状況にある家庭の子どもの母親(父親)などに対して手当を支給します。	窓口来庁者にはパンフレットを用いて制度の説明を行いました。	こども課
3204	ひとり親家庭等医療費支給制度	ひとり親家庭の経済的負担を軽減するために、保険診療に係る自己負担金の一部を助成します。	受給権者数：1,570人 支給件数：10,497件	こども課
3205	小学生や中学生の就学援助金支給制度	経済的な理由により、学用品の購入や給食費の支払いなどに困窮している児童生徒の保護者に援助金を支給します。	要保護者14人、準要保護者1,430人に対して、学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費の援助を行いました。 就学援助費109,920,380円	学務課
3206	遺児就学援助金等支給制度	交通事故・疾病その他の事由により親権者の一方または双方を亡くした小学生および中学生の保護者に援助金などを支給します。	義務教育課程の遺児の保護者に援助金と図書カードを支給しました。 対象者数：61人 対象児童数：91人	こども課
3207	埼玉県ひとり親家庭児童就学支度金事業の申請受付	新たに中学校に入学する児童を養育するひとり親家庭などの保護者に対し、就学支度金の申請受付を行います。	申請件数：40件	こども課
3208	埼玉県母子・父子寡婦福祉資金貸付制度の申請受付	ひとり親家庭の経済的自立を支援するため、必要な資金の貸付の相談や申請を受付けます。	申請受付件数：37件	こども課
3209	自立支援教育訓練給付金支給事業	就職を希望するひとり親家庭の母または父に対して、教育訓練講座に係る受講費用の一部を自立支援教育訓練給付金として支給します。	窓口等で制度の周知を図りました。 申請：0件、相談1件	こども課
3210	高等技能訓練促進費等支給事業	ひとり親家庭の母または父が就業に必要な国家資格などの資格取得を目的とする養成機関に修業する場合、経済的負担の軽減のために給付金を支給します。	修業期間中の生活の負担を軽減する目的で、給付金を支給しました。 支給件数：13件	こども課
3211	内職相談事業	内職相談員による内職に対する相談、あっせんを行います。	内職相談員による内職のあっせんを週2回実施しました。 求 人：129人 求 職：330人 紹 介：109人 登録者：204人 斡旋率：33%	商工業振興課
3212	就労に関する情報提供	就労支援サイト「茶レンジ」OBさやま」の登録事業者を増やし、求人情報を充実するとともに狭山市ふるさとハローワークにて求人求職に関する情報提供・あっせんを行います。	市役所本庁舎1階求人コーナーにおいて、求人に関する情報提供を行うとともに、インターネットによる就職支援サイトを運用し、求人求職に関する情報提供を行いました。 また、若年者を対象とした就職相談を週2回行いました。	商工業振興課
3301	障害児保育	保育所における集団保育が可能な心身の発達に障害のある乳幼児の健やかな発達支援と家族支援のため、関係機関と連携し、保育に欠ける障害児の保育を行います。	障害児及び発達の気になる児童を公立保育所において合計56人、民間保育所5園において合計6人の受け入れをして、集団保育を実施しました。青い実学園と併用している児童については、連携を取りながら適切な保育が行われるように努めました。 また、教育センターの就学前指導及び保育課の専門講師による巡回指導を実施し、児童やクラス運営について、情報の共有を図り、保育の進め方について確認しました。	保育課
3302	児童発達支援事業	心身の発達に関して支援が必要な就学前の乳幼児に、個別的な療育支援を行うと共に、親子通園を通じて家族支援を合わせて行い、幼稚園、保育所との連携の充実と、医療機関などとの連携を深めます。 幼稚園、保育所に在籍する発達に心配のある子への訪問支援を行います。 保健センター、こども課などとの連携を深め情報を共有します。	保健センター及びこども課と情報共有やケース会議を実施しました。 見学や勉強会等、学校との連携を深めました。 幼稚園保育園に在籍する発達に気になる子への訪問支援を積極的に行いました。 児童発達支援事業の利用者：延べ3,432人 外来療育相談事業：1,265件 めだかクラブ事業への参加：23回 3歳児健診への職員派遣：16回 幼稚園保育園見学、相談支援：94回 専門病院、訓練先見学：7回 保育所等訪問支援：78回	青い実学園

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
3303	特別支援教育の充実	就学相談や専門家巡回支援などの実施や児童生徒一人ひとりに応じた就学支援を行うとともに、ユニバーサルデザインの視点を採り入れた授業づくりを各校で取り組みます。	専門家巡回支援等を実施し、発達等に課題のある児童生徒の支援を充実させるとともに、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた就学相談を支援し、保護者との相談も密に行いました。特に未就学児童の就学相談につなげるため、私立幼稚園等にも拡大して専門家巡回支援を実施しました。	教育指導課 教育センター
3304	文化・スポーツ活動などの推進	文化・スポーツ事業の機会や情報を提供し、社会参加や交流の機会を拡大します。	ふれあい健康センターサビオ稲荷山において、障害者水泳教室を24回開催し、障害者とその介護者延べ179人が参加しました。 また、埼玉県障害者スポーツ大会「彩の国ふれあいピック」等のスポーツ大会について、公式ホームページや団体への通知により募集し周知を図りました。	障害者福祉課
3305	介護人等派遣事業	在宅の重度障害児の円滑な通学などを支援するため、介護人を派遣します。	・全身性障害者通学等介護人派遣事業については、通学支援の派遣はありませんでした。 ・手話通訳者派遣事業、要約筆記者派遣事業を行い、コミュニケーション手段の確保を行いました。 ・障害者の福祉ガイド、公式ホームページ等により事業の周知を図りました。	障害者福祉課
3306	心身障害児（者）生活サポート事業	在宅の障害児の地域生活を支援するため、身近な場所における一時預かり、送迎、外出援助などを行います。	事業者及びサービス利用者に補助金を交付し、在宅障害者の支援を行いました。 登録：28団体 交付：16団体	障害者福祉課
3307	日常生活用具給付等事業	在宅重度障害児の日常生活を容易にするため、日常生活用具の給付などを行います。	日常生活用具の給付・レンタルを行いました。 日常生活用具給付件数：2,092件 レンタル事業給付件数：3件	障害者福祉課
3308	重度心身障害者（児）医療費支給制度	重度心身障害児家庭の経済的負担の軽減のため、保険診療に係る自己負担金を補助します。	引きつづき事業を実施し周知に努めました。 支給件数：82,822件	障害者福祉課
3309	育成医療費の給付事業	障害又は将来的に障害を残すと認められる疾患に対して、手術などの外科的治療を行うことにより確実な治療効果が見込め、日常生活が容易になると認められる治療に対して医療費を給付します。	日常生活が容易になると認められる外科的治療に対して、医療費の一部を支給しました。 支給件数：54件	障害者福祉課
3310	障害者通所給付事業	障害児の生活能力の向上や集団生活への適応、社会との交流促進などの療育訓練などを行います。	未就学の児童を対象に児童発達支援及び保育所等訪問支援、学齢期以降の児童を対象に放課後等デイサービスを提供しました。 年間延べ利用人数：1,488人	障害者福祉課
3311	福祉教育の充実	共生社会の実現をめざし、ノーマライゼーションの理念に基づき、お年寄りや障害者などへの理解を深め、互いに支え合える心を育成する福祉教育を推進します。	中学校では、老人ホーム、介護福祉施設等への職場体験（社会体験チャレンジ事業）を行いました。 小学校では、国語科や総合的な学習の時間を通して、福祉教育に取り組み、外部講師として社会福祉協議会の方を招へいしました。	教育指導課
3401	相談・支援の充実	発達に心配のある子どもに対して、気軽に相談や支援を受けられるよう、関係機関の連携による支援体制の充実に努めます。 専門職による相談を実施します。 発達支援マネージャー・発達支援サポーターを配置し、発達障害に対する相談や支援に取組みます。	障害者基幹相談支援センター及び市内3ヶ所の相談支援事業所において相談対応を行いました。また、障害者福祉課職員が発達支援マネージャー研修に参加するとともに、市内の幼稚園・保育園に対して発達支援サポーター研修への参加を促進しました。	障害者福祉課
3401	相談・支援の充実	発達に心配のある子どもに対して、気軽に相談や支援を受けられるよう、関係機関の連携による支援体制の充実に努めます。 専門職による相談を実施します。 発達支援マネージャー・発達支援サポーターを配置し、発達障害に対する相談や支援に取組みます。	幼稚園保育園に在籍する発達の気になる子への訪問支援を積極的に行うとともに電話相談も実施しました。 外来療育相談事業：1,265件 幼稚園保育園見学、相談支援：94回 保育所等訪問支援：78回	青い実学園
3401	相談・支援の充実	発達に心配のある子どもに対して、気軽に相談や支援を受けられるよう、関係機関の連携による支援体制の充実に努めます。 専門職による相談を実施します。 発達支援マネージャー・発達支援サポーターを配置し、発達障害に対する相談や支援に取組みます。	家庭児童相談・めだかクラブ・保健センターの健診等での発達相談や支援に努め、関係機関との連携に努めました。	こども課
3401	相談・支援の充実	発達に心配のある子どもに対して、気軽に相談や支援を受けられるよう、関係機関の連携による支援体制の充実に努めます。 専門職による相談を実施します。 発達支援マネージャー・発達支援サポーターを配置し、発達障害に対する相談や支援に取組みます。	発達障害への理解と特性に応じた保育や保護者への育児支援の体制を図るために発達支援サポーター育成研修に各保育所から積極的に参加し、園内研修で情報共有をしたり保護者対応に努めました。	保育課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
3401	相談・支援の充実	発達に心配のある子どもに対して、気軽に相談や支援を受けられるよう、関係機関の連携による支援体制の充実に努めます。 専門職による相談を実施します。 発達支援マネージャー・発達支援サポーターを配置し、発達障害に対する相談や支援に取組みます。	乳幼児特別相談：11回、延べ18人 てんとう虫の会：6回、延べ9人 発育発達相談：12回、延べ34人 未就学児施設職員研修：1回	保健 セン
3401	相談・支援の充実	発達に心配のある子どもに対して、気軽に相談や支援を受けられるよう、関係機関の連携による支援体制の充実に努めます。 専門職による相談を実施します。 発達支援マネージャー・発達支援サポーターを配置し、発達障害に対する相談や支援に取組みます。	電話相談員を配置し、専用の電話番号からいつでも対応できるようにしました。 教育相談員を複数配置し、専門職による、よりきめ細やかな対応を行いました。 大学を含めた、関係機関との連携を密にし、発達障害に対する相談や支援に取り組みました。	教 タ セン
3402	保護者の学習機会の提供	子どもにかかわりにくいと感じている保護者を対象に、子どもへの対応の仕方や保護者自身のストレスマネジメント方法について学習する教室を実施します。	ペアレントサポート教室 1コース4日×1回/年 延23人参加	保 タ セン
3403	乳幼児健全育成相談指導事業	継続支援が必要な乳幼児や育児不安をもつ保護者などに対し、グループ指導を行います。	めだかクラブ年23回実施。 関係各課と連携し、保育所、幼稚園、青い実学園など、次の所属先への適切な情報提供を行いました。	青 い 実 学 園
3403	乳幼児健全育成相談指導事業	継続支援が必要な乳幼児や育児不安をもつ保護者などに対し、グループ指導を行います。	めだかクラブ年24回実施 関係各課と連携し、保育所、幼稚園、青い実学園など、次の所属先への適切な情報提供を行います。	こ ど も 課
3403	乳幼児健全育成相談指導事業	継続支援が必要な乳幼児や育児不安をもつ保護者などに対し、グループ指導を行います。	めだかクラブ年24回実施 関係各課と連携し、保育所、幼稚園、青い実学園など、次の所属先への適切な情報提供を行います。	保 タ セン
4101	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に向けた啓発	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に向けた意識啓発をします。	ワークライフバランスについてのパネルを展示したり、市民交流センターにパンフレットをおき啓発を行いました。	市 民 生 活 課
4101	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に向けた啓発	男性を含めたすべての人が、子育てを含む家庭生活と仕事の両立が図れるよう働き方の見直しに向けた意識啓発をします。	国や県が作成したパンフレット等を関連機関に配布するとともに、市内製造業企業宛てに定期的に法制度の広報、情報提供を行い啓発に努めました。	商 工 業 振 興 課
4102	育児休業・看護休暇に関する普及啓発	育児休業や看護休暇の取得に向け意識啓発をします。	市民交流センターにチラシをおき啓発を行いました。	市 民 生 活 課
4102	育児休業・看護休暇に関する普及啓発	育児休業や看護休暇の取得に向け意識啓発をします。	育児休業・看護休暇に関連するパンフレット等を関連機関に配布し、意識の啓発に努めました。	商 工 業 振 興 課
4103	多様な働き方に関する意識啓発	多様な働き方を選択できるよう、意識啓発をします。	外で働くことが困難な女性に対し柔軟な働き方が可能な在宅就業に関する支援を行うため「在宅ワークショップ」を実施しました。参加者：53名 市民交流センターにチラシをおき啓発を行いました。	市 民 生 活 課
4103	多様な働き方に関する意識啓発	多様な働き方を選択できるよう、意識啓発をします。	ワーク・ライフ・バランスが重要であることから、市内製造業企業宛てに定期的に法制度の広報、情報提供を行い意識啓発を行いました。	商 工 業 振 興 課
4104	一般事業主行動計画の普及啓発	市内の各事業所に対して、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「一般事業主行動計画」の策定や実施について、企業訪問を通して啓発・周知します。	市内製造業企業宛てに定期的に法制度の広報、情報提供を行い啓発・周知に努めました。 提供事業所数： 約290事業所	商 工 業 振 興 課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
4105	女性の再就職に向けた支援	女性の再就職支援に向けたセミナーなどを開催し、再就職を希望する方を支援します。	女性のための再就職支援セミナーを開催しました。 参加者：延べ4人 外で働くことが困難な女性に対し柔軟な働き方が可能な在宅就業に関する支援を行うため「在宅ワークセミナー」を実施しました。 参加者：53名	市民生活課
4105	女性の再就職に向けた支援	女性の再就職支援に向けたセミナーなどを開催し、再就職を希望する方を支援します。	男女共同参画センターに関連パンフレット等の情報提供を行うとともに、同センターとの共催で女性のための再就職・在宅ワークセミナーを実施しました。	商工業振興課
4106	事業所内託児施設の整備促進	事業所内保育施設の整備促進について啓発します。	産業団体や労働機関と連携し、周知・啓発を行いました。	商工業振興課
4201	男性の子育て参画の推進	男性の子育て参画を促すため、意識啓発をします。	男性の育児参加促進と母親のリフレッシュのため「パパのための交流会」を開催しました。参加者：14家族42名（大人28名こども14名）	市民生活課
4202	家庭教育に関する学習機会の提供	父親の家庭教育への参画の重要性を鑑み、PTAと連携し、家庭教育に関する学習機会を提供します。	PTAとの共催で、週末を利用して開催している家庭教育合同研修会を通して、父親の家庭教育についての学びの機会を提供しました。	社会教育課
4203	父親の子育て講座などの参加促進	各子育て支援施設で、子育て支援に関する講座だけでなく、父親参加型の企画をし日ごろから父親も利用しやすい環境づくりを進めます。	パパと遊ぼう会を年3回実施し、延べ71組の父子がふれあい遊び等を楽しみました。 また、男性の育児参加と親子交流の機会を提供するため、男女共同参画センターとの共催による「ベビーダンス」講座を実施しました。	こども課
4301	保育所待機児童対策の推進	認定こども園・地域型保育事業の整備などを地域バランスなどに配慮しながら推進します。教育と保育とを一体的に提供する、認定こども園の整備を図ります。	提供体制80人分の地域型保育事業所を整備しました。	保育課
4302	保育所における安全対策	保育所における安全を確保するための必要な施設の整備、保護者に対する防犯などの情報を提供します。また、緊急時や災害時には配信メールを利用し、情報を周知します。	園庭遊具の保守点検を年3回実施し、危険箇所の確認とともに状況に応じた修繕を実施しました。 防災訓練を年1回、避難訓練（地震・火災）を毎月、不審者対応訓練を不定期に行い、職員と児童の安全を図りました。 水野保育所、新狭山保育所、山王保育所に防犯カメラを設置し、職員と児童の安全を図りました。	保育課
4303	公立保育所改修整備事業	老朽化している施設、設備を計画的に改修します。	狭山台南保育所の耐震改修工事、空調改修工事を実施しました。また、給食調理室の床を湿式から乾式へ改修工事を実施しました。	保育課
4304	保育情報の提供	広報紙や市公式ホームページ、地域子育て支援拠点などにおいて、保育情報を提供します。広報さやま、ホームページ等により保育サービスに関する積極的な情報提供を行います。	広報紙、公式ホームページ、地域子育て支援拠点等において、保育情報の提供に努めました。また、各保育所において園庭開放の案内を行い保育所の周知を図りました。	保育課
4305	延長保育の充実	保護者の通勤や就労形態の多様化に対応するため、延長保育を行います。	引き続き、24園で延長保育事業を実施し、保護者の通勤や就労形態の多様化に対応するため、時間外保育（延長保育）を行いました。	保育課
4306	休日保育の充実	保護者が仕事その他の理由により休日に不在となり、家庭において児童を保育することが困難な場合に、休日保育を行います。	狭山市立祇園保育所で休日保育を実施し、民間保育所と合わせて2か所で実施しました。	保育課
4307	病後児保育の充実	疾病回復期にある児童が、その保護者の労働その他の理由により家庭における保育に支障がある場合、病後児保育を行います。	狭山市立祇園保育所で病後児保育を実施しました。	保育課
4308	学童保育室の充実	保護者が就労のために放課後留守になっている家庭や、病気などで家庭において保育できない児童を対象に、保護者に代わり保育を行います。「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後子ども教室と定期的な打合せを行うなどの連携を図り、学童保育室の計画的な整備を進めます。	学校敷地外で事業を実施していた学童保育室を、学校敷地内へ移設整備をし、学童保育室を利用できる定員を増やすとともに、登室する児童の安全の確保を図りました。	学務課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
5101	男女が協力し、家庭を築くための意識啓発	男女が協力してともに家庭を築いていくことができるよう意識啓発をします。	男性の家事参画を促すため「日曜夕飯のおかずづくり」をテーマに「男性の料理教室」(全2回)を開催しました。 参加者：延べ31人 家庭における男女共同参画を進めるため「父と子の料理講座」を開催しました。 参加者：親子7組17人 男性の育児参加促進と母親のリフレッシュのため「パパのための交流会」を開催しました。 参加者：14家族42人(大人28人、子ども14人) 男女共同参画講演会を実施しました。 参加者：76人(男性41人：女性35人)	市民生活課
5101	男女が協力し、家庭を築くための意識啓発	家庭教育学級などを通して、父親母親が協力した家庭づくりについて、意識啓発をします。	家庭教育学級等を通して、家族が協力した家庭づくりについての意識啓発に努めました。	社会教育課
5101	男女が協力し、家庭を築くための意識啓発	家庭科授業において、家庭のあり方について学ぶなど、男女が協力して家庭を築くこと、子どもを産み育てることの大切さを学習します。	各校において家庭科の授業を通して家庭の在り方、男女の協力等について学習をしました。	教育指導課
5102	男女共同参画情報コーナーの情報提供	男女共同参画情報コーナーにおいて、男女共同参画に関する取組みなどの情報を提供します。	平成24年7月、男女共同参画センターに情報コーナー設置済 ・情報コーナー利用者数 延べ339人 ・男女共同参画週間記念事業としてパネル展示(8日間)を市役所エントランスホールで行い、男女共同参画に関する取り組みの紹介やリーフレットの配布等を行いました。	市民生活課
5103	男女平等教育推進講演会	男女共同参画社会の実現を目指す教育の推進のため、県主催の男女平等教育推進講演会に各小・中学校、幼稚園の教職員が参加するなどにより意識啓発をします。男女共同参画社会の実現を目指す教育の推進を図るため、人権教育の視点から研修を行います。	県主催の男女平等教育推進講演会に参加するよう幼・小・中の教職員に周知しました。	教育指導課
5104	乳幼児とのふれあい事業の充実	中学生、高校生などに対し、子どもを産み育てることの意義の理解を促進するため、乳幼児とふれあう機会を提供します。	児童館事業に中・高校生がボランティアとして参加し、乳幼児とのふれあいの機会を確保しています。	こども課
5104	乳幼児とのふれあい事業の充実	中学生、高校生などに対し、子どもを産み育てることの意義の理解を促進するため、乳幼児とふれあう機会を提供します。	中学生が授業の体験学習として、また、高校生が社会福祉協議会のボランティア体験として、乳幼児と一緒に遊んだり、絵本の読み聞かせ、生活の世話をすること等を通して触れ合う経験をし乳幼児への理解を深めました。また、保育士体験をすることで保育所の役割についても学びました。	保育課
5105	ジュニアリーダーの育成	狭山市子ども会育成会連絡協議会(市子連)との連携を深め、市子連への子ども会の加入促進を啓発し、他の青少年育成団体などとの連携・協力体制を整備・推進します。	年少指導者の育成のためジュニアリーダー初級講習会を開催し、野外活動や社会科見学等のカリキュラムを実施して育成に努めました。 ジュニアリーダー：29名 ジュニアリーダー初級：21名	社会教育課
5106	市長と中学生との対談	市長と市内中学校の生徒が対談を行い、青少年が日頃考えていることや本音に触れ、青少年の健全育成の推進の一助とします。	「いま、考えること」というテーマの下、市内の中学校11校の代表者が集い、中学生が普段考えていることについて、意見交換を行いました。	こども課
5107	ニート対策などの推進	若者のフリーターやニート対策として、就職支援セミナーを開催するとともに、狭山市産業労働センター内にカウンセラーを配置し、就職相談などを行います。	若年者を対象とした就職相談を週2回実施しました。就職支援のための資格取得、面接方法、自己分析のためのセミナー等を開催しました。 就職相談者数：244人	商工業振興課
5201	地域子ども教室事業の推進	「放課後子ども総合プラン」に基づき、学童保育室と定期的な打合せを行うなどの連携を図り、すべての児童が放課後などを安全・安心に過ごし、多様な体験・活動が行えるよう学校施設の有効利用を図りながら整備します。 既設教室の支援を継続しつつ、放課後教室の未設置小学校区へ開室実施に向けて計画的な整備を推進し、全小学校区に設置します。 事業運営に携わる関係者の資質向上を図りつつ、新たな事業協力者の確保に取組みます。	15教室(週末教室6教室、放課後教室9教室)を開設するとともに、広域事業を実施しました。	社会教育課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
5202	学校開放事業の充実	地域の身近な活動の場として、学校施設の開放を行います。	市内14小学校、9中学校が有効利用され、活動の場の提供が図られました。	教育総務課
5202	学校開放事業の充実	学校の教育活動に支障のない範囲で、スポーツ・レクリエーション団体に地域の身近な活動の場として、学校体育館を提供します。	入間川小学校を除く市内小・中学校(23校)の体育館を開放しました。	スポーツ振興課
5203	子どもの遊び場の整備・改修	子どもが安全で、安心して遊べる公園施設を提供します。	中平野第2公園、田中西公園、東三ツ木公園を供用開始しました。公園の遊具等の保守点検及び改修・修繕等適正な維持管理を実施しました。	みどり公園課
5204	地域活動への参加促進	地域に根ざした学校づくりをめざし、地域や地域の人々との交流を深め、児童生徒だけでなく教職員も主体的に地域社会の一員としての自覚が持てるよう地域活動への参加を呼びかけます。	アダプトプログラム実施校 小学校15校 中学校9校 (100%) さやまっ子教育の日や土曜授業日等に清掃活動や祭り、バザー等で地域の人々と交流する活動を行いました。 地域の人材を活用した授業の実施校 小学校15校 中学校9校 (100%)	教育指導課
5205	こどもまつりの開催	地域や人々の連携、交流の場として、地域の子育て支援者や市内各種児童施設が協働し、子どもやその保護者を対象におまつりを開催します。	市内各児童館で、こどもまつりを開催しました。また、智光山公園において、こどもフェスタを開催しました。	こども課
5206	こどもエコクラブへの参加促進	小中学生の環境への関心と理解を深め、環境保全活動への自主的参加を促すため、こどもエコクラブ事業の市事務局として、参加を呼びかけるとともに、情報提供や登録受付を行います。	こどもエコクラブ地方事務局に登録し、全国事務局から各地の活動状況やイベント情報などを収集するとともに、市内保育所等へエコクラブ加入促進のための周知活動を行いました。	環境課
5207	中高生の活動拠点の整備	中学生、高校生などの自主的活動を促進するための活動拠点を整備します。	児童館を利用している中学生や高校生が、児童館事業のボランティアとして積極的に参加しています。	こども課
5208	青少年健全育成団体の活動促進	市内の青少年健全育成団体相互の連携を促しながら、自主的活動を支援します。	青少年を育てる狭山市民会議、狭山市青少年相談員協議会、狭山市青少年育成推進員会に補助金を支給しました。	こども課
5208	青少年健全育成団体の活動促進	市内の青少年健全育成団体相互の連携を促しながら、自主的活動を支援します。	狭山市子ども会育成会連絡協議会と郷土かるた大会やスキースクールなどを共催し、活動を支援しました。	社会教育課
5209	児童館事業の充実	児童が気軽に利用できる環境を整備するとともに、魅力ある事業を企画・実施します。事業の企画にあたっては、子どもの参画を推進します。	指定管理者により、乳幼児・こども・父親参加型・子育て応援・中高生対象事業を実施しました。また、各館合同事業や地域との関わりをもった事業も実施しました。	こども課
5301	幼児教育の充実	幼児教育について情報提供し、幼児期の成長の様子や大人の関わり方について保護者や地域住民などの理解を深めるとともに、幼・保・小の連携を進めます。	水富幼稚園→研究発表 入間川幼稚園→支援担当訪問	教育指導課
5302	幼稚園保護者の経済的負担の軽減	幼稚園などに就園する子どもの保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園就園奨励費補助金を交付します。	公立幼稚園の園児48人の授業料を減免し、私立幼稚園等の園児1,653人に対して幼稚園就園奨励費補助金を支給しました。	学務課
5303	保育所と幼稚園の相互交流	保育所と幼稚園が計画的に、日常的に相互交流を進めるなかで、互いの理解を深めて、就学前児童の育ちを支援します。	保育所と幼稚園の4歳児・5歳児がそれぞれの施設を訪問して、ゲーム遊び・製作活動・表現活動等をしながら交流しました。 幼稚園児が保育所の乳児の世話をしたり一緒に遊ぶ機会を持ち交流しました。 保育所と幼稚園の職員が日常の保育についての情報交換や交流活動の話し合いの場を持ちました。	保育課
5303	保育所と幼稚園の相互交流	保育所と幼稚園が計画的に、日常的に相互交流を進めるなかで、互いの理解を深めて、就学前児童の育ちを支援します。	幼保小連携地区協議会(8地区)で、保育所と幼稚園の情報交換等の研修を行いました。	教育指導課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
5304	保育所、幼稚園、認定こども園と小学校との連携	子ども達がスムーズに就学できるよう、保育所、幼稚園、認定こども園、小学校が連携して取り組みます。	就学する子供たちが小学校へのスムーズな接続が出来るように、狭山市を8地区に分けて幼保小連携地域協議会を開催して、学校との話し合いや連絡等、継続した連携を図りました。また、小学校の行事（運動会・スポーツタイム等）に参加したり、授業の見学をして低学年との学習の交流遊び等を引き続き行いました。就学する小学校に児童の保育要録を送り共通理解を図りました。	保育課
5304	保育所、幼稚園、認定こども園と小学校との連携	子ども達がスムーズに就学できるよう、保育所、幼稚園、認定こども園、小学校が連携して取り組みます。	狭山市幼保小連携協議会（全大会・地区別協議会）を1回開催し、連携についての意見交換や今後の取り組みについての確認を行いました。全大会では、教育センターが取り組んでいる、早期就学支援の取組の報告を行いました。	教育指導課
5305	確かな学力の向上	各学校の児童・生徒の実態を踏まえ、授業改善、スキル学習など、学校の特色を生かした取組みを推進します。	各校が、学力向上ストラテジー2yearsプランを策定し、実態に応じた学力向上策を実践しました。小学校ではわくわく支援員、中学校ではアシスタントティーチャーを各校に配置し、きめ細やかな学習指導の充実を図りました。また、SSVCをはじめ学校応援団の協力体制を築き、授業支援等を行い、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の充実を図りました。また、学力向上委員会では、小中学校教員用指導リーフレット「狭山市学力向上“茶レンジ・プラン”」を作成し、各校において活用してもらっています。	教育指導課
5306	豊かな心の育成	道徳教育を充実します。心の教育研究委員会の活動を継続し、道徳教育に関する教員の指導力向上を図ります。	心の教育研究委員会において、道徳の授業を実施するにあたって出てくるであろう疑問に答える形の手引き「道徳教育Q&A」を完成し、市内全小中学校教員に配布しました。市内全校で道徳の授業公開を実施し、保護者・地域の方の参加を得ました。	教育指導課
5307	健やかな体の育成	部活動外部指導者を配置します。	配置人数：30人のところ30人配置により達成率：100%であり、また、部活動指導員の延べ活動日数実績値も1,777日、達成率：98.72%の実績でした。 （目標：5日間×12ヶ月×配置人数(30人)=1,800日） ※1中学校あたり3名平均で配置しました。	教育指導課
5308	開かれた学校づくり	学校応援団の組織をより充実させるとともに、地域の教育財産を効果的に活用し学校教育を充実します。	学校応援団設置校 小学校15校 中学校9校（100%） 学校応援団にボランティアとして、図書環境の整備、学習活動補助、校内美化、安全見守り等で教育活動を支援していただきました。	教育指導課
5309	少人数指導	児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を行います。少人数指導加配の配置を埼玉県教育委員会に要望します。	児童生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かい指導をするために人的配置を行いました。 県費加配教員：小学校27名 中学校17名 市費授業支援員：小学校15名 中学校9名 その結果、教師が子供と関わる機会が増加し、より細かい指導が可能となりました。	教育指導課
5310	情報教育の充実	各小中学校の各教室・特別教室へのパソコン設置や校内LAN整備により、情報化の進展に対応した学習環境を整えます。情報教育機器の活用を進めます。各学校がLANを使用して授業に活用できるよう研修会を開催します。	小中学校(24校)のパソコンの計画的な更新を進めました。	教育総務課
5310	情報教育の充実	各小中学校の各教室・特別教室へのパソコン設置や校内LAN整備により、情報化の進展に対応した学習環境を整えます。情報教育機器の活用を進めます。各学校がLANを使用して授業に活用できるよう研修会を開催します。	パソコンを利用した授業時数の調査の実施とともに、ICT活用授業研修会では、パソコンルームの活用研修会を実施しました。教員の授業におけるパソコン利用時数は、中学校ともに、年々上昇しています。校務用パソコンの一部入れ替えにむけて業者との調整をしました。教員むけに、校務支援ソフト活用研修会とICT活用授業研修会を行いました。	教育センター
5311	小学校英語活動	外国語早期教育を推進し、英語によるコミュニケーションへの関心や意欲・態度を育成し、自らのことや我が国と郷土について積極的に発信できる素地を養います。全小学校に英語活動支援員を配置します。	22人の英語活動支援員を配置しました。小学校教員の指導力向上のため、英語活動集中講座を開設しました。小学校専任語学指導助手を配置し、英語活動支援員や担任と連携させることで、より充実した英語活動の授業が行えるようになりました。英語カリキュラム作成委員会が中心となって、英語指導マニュアルの見直しを進めました。	教育指導課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
5312	進路指導の充実	自分の将来に夢を持ち、生きる力を育て、地域・社会に貢献できる生徒を育成するため、全中学校でふれあい講演会、職場体験学習を実施します。	教員対象のキャリア教育研修会を講師を招いて実施しました。また、全中学校では、ふれあい講演会、職場体験学習が行われました。	教育指導課
5313	総合的な学習の時間	地域や学校、児童生徒の実態などを生かした指導計画を改善、充実します。	各校の工夫改善により、体験活動や問題解決的な学習が充実してきており、学校を中心とした学習活動が展開され、地域との連携を深めることができました。	教育指導課
5314	狭山茶とふれあう教育の推進	小・中学校の体験学習の中で、狭山茶とのふれあいとともに、地域とのふれあい、食の大切さ、郷土への愛着心を醸成します。狭山市茶業協会などと協力し、狭山茶とふれあう機会を創出します。	日本茶体験授業研修会(教員研修)の実施 小学校各校1名 中学校各校1名 計24名 日本茶(狭山茶)出前授業の実施 小学校 8校 日本茶(狭山茶)体験授業の実施 小学校 13校 中学校 4校 茶摘み体験、茶席体験授業の実施 小学校 11校	教育指導課
5315	生徒指導の充実	暴力を否定し、信頼関係に立つ生徒指導を実践し、いじめ問題と不登校の根絶を目指します。暴力を否定し、信頼関係に立つ生徒指導を実践し、いじめ問題と不登校の根絶を目指します。	生徒指導訪問を各学期1回実施するとともに、不登校・問題行動等があれば、学校とともに対策を講じ、問題解決を図りました。また、各校で「学校いじめ防止基本方針」を策定し、計画的にいじめ防止のための取組を実施しました。市では、いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題審議・調査委員会を年2回ずつ実施しました。	教育指導課
5316	学校施設の整備・管理	安全・安心、快適な教育環境を確保するため、学校施設を整備します。	耐震補強工事:校舎1校(山王小)、体育館3校(入間川小・入間野中・中央中)、武道場1校(堀兼中) 空調改修工事:1校(入間川中)	教育指導課
5317	健康づくり事業	健康づくり団体による小中学校などを対象とする親子料理教室や幼稚園などでのすこやか体操の指導などを中心に子どもの意識啓発をします。	第2次健康日本21狭山市計画・狭山市食育推進計画の5分野に積極的に取り組んでいます。 「すこやかさやま連絡協議会」によるウォーキングや講演会を実施しました。 「健康づくり推進協議会」による親子体操教室と食育講座を実施しました。 「すこやか体操普及指導員」による体操の普及活動を実施しました。 健康標語の募集をすることにより健康に対する意識啓発を図りました。	健康推進課
5401	家庭教育学級の充実	家庭の教育力向上に向け家庭教育学級を開設します。	家庭の教育力向上に向け家庭教育学級を開設しました。 幼稚園:6園 小学校:15校 中学校:9校	社会教育課
5402	すこやか子育て講座	すべての市立小学校において、家庭教育に関する講座を開設します。	全ての市立小学校において講座を開催しました。	社会教育課
5403	親支援プログラムの実施	乳幼児を持つ保護者を対象に、親として子育てに必要な知識と心構えを学び、子どもを健全に育成するために、親支援プログラム事業を行います。	総合子育て支援センターでは、子育て応援プログラムを年2回開講しました。 5/20～ 6回シリーズ 参加者:11組(延べ62人) 保育:延べ68人 ボランティア協力:延べ25人 10/21～ 6回シリーズ 参加者:12組(延べ67人) 保育:延べ69人 ボランティア協力延べ28人	こども課
5404	地域人材の活用	子どもたちの健全育成のため、地域の人材を積極的に活用します。	学校支援ボランティアセンターをさやま市民大学同窓会に業務委託しました。また、学校応援団研修会を実施しました。 生涯学習ボランティア名簿を家庭教育学級で利用いただけるように各学校に配布しました。	社会教育課
5404	地域人材の活用	子どもたちの健全育成のため、地域の人材を積極的に活用します。	各公民館で、子どもの発達段階に応じた各種講座等の事業を実施する際、サークルや地域団体の協力を得るなど、地域人材の活用に努めました。また、子育てサロンや子育て広場の運営を地域団体や地域の人材を活用して実施しました。	公民館

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
5405	地域における教育活動の推進	各種講座や研修・イベントを通じて、子どもの健全育成と意識啓発をするとともに、各種の情報を提供します。	各公民館で、交通安全・防犯、家庭教育、子育て講座、健康づくり講座、男女共同参画、障害者学級などの事業を実施(関係団体との共催事業あり)するとともに、公民館のホームページや公民館だよりを利用して、情報提供を図りました。	公民館
5405	地域における教育活動の推進	各種講座や研修・イベントを通じて、子どもの健全育成と意識啓発をするとともに、各種の情報を提供します。	子どもへの集団読み聞かせを行っている方、または行いたいと思っている方を対象に講座を行いました。読み聞かせ講座：2回 市民と連携して、子どもと本に関する活動を行いました。 絵本を楽しむ会：6回 講演会「子どもと本をつなぐ選書のコツ」：1回 他部署と連携して子どもと本に関する講座や研修会などを行いました。 育児学級：8回(内3回は狭山台図書館による) 学校図書館ボランティア研修「読み聞かせに向けた選書のポイント」：1回 読書活動の促進のために、図書館だよりの作成・配布、特集展示、ブックトーク等を行いました。	中央図書館
5405	地域における教育活動の推進	各種講座や研修・イベントを通じて、子どもの健全育成と意識啓発をするとともに、各種の情報を提供します。	子ども向け夏期企画展「木のからくりおもちゃ展」及び関連事業として、工作教室を12事業実施しました。さらに、子どもが年中行事などの日本文化を学ぶ体験学習も随時開催しました。 夏期企画展開催期間数：60日間 入館者数：延べ10,895人	博物館
5406	スポーツ指導者の養成	スポーツ・レクリエーション活動の普及のためにスポーツ指導者を養成します。	各種スポーツ団体で指導者の養成・育成やケガの予防・処置とケアと題したテーピング講習会等を実施しました	スポーツ振興課
5407	世代間交流の促進	高齢者と小学生が学校の草取りを一緒に行う「ふれあい草取り」やグラウンドゴルフ、輪投げ、ベタンクなどのシニアスポーツなどを通じ世代間の交流を促進します。	市内の小学校8校でふれあい草取り(地区の老人クラブと子供たちの交流)を予定していましたが、雨で1校中止となり、7校で実施し195名の会員が参加しました。	高齢者支援課
5407	世代間交流の促進	さまざまな世代の人たちと交流する機会を提供します。	各公民館で、夏まつり、音楽祭・コンサート、文化祭、ハイキングなどのイベントや小学校との連携事業などにおいて、積極的に世代間交流に取組みました。	公民館
5501	違反屋外広告物簡易除却事業	安全で快適なまちづくりのため、電柱などに設置された有害情報を含む違反広告物を撤去します。	除却枚数 1,439枚	管理課
5502	有害図書の区分陳列化などの促進	「埼玉県青少年健全育成条例」に基づき、青少年に有害な図書、ビデオの区分陳列を推進します。各地域で行われている非行防止パトロールを兼ねた見回りを実施します。	各地域で非行防止パトロールを実施しました。	こども課
5503	健全育成のための連携体制の充実	子どもの健全育成のため、学校をはじめ、「要保護児童対策協議会」、「青少年を育てる狭山市民会議」の他、警察や事業者、保護者、地域住民など、関係諸機関と連携・一体となって取り組みます。	警察と市教委、学校との協定書を確認し連携強化を図ると共に、所沢児童相談所、要保護対策協議会、青少年を育てる狭山市民会議などの関係諸機関と連携し生徒指導の充実を図りました。	教育指導課
6101	市営住宅の母子世帯などの優先入居制度	市営住宅の入居募集(登録制)において、母子世帯、多子世帯などを優先入居できる制度を実施します。	市営住宅の入居募集(登録制)において、母子世帯、多子世帯は優先世帯としました。 新規入居23世帯中、母子世帯は8世帯でした。(3月末現在)	住宅営繕課
6102	住宅に関する情報提供	市営住宅やUR都市機構住宅、特定優良賃貸住宅などの募集案内の情報提供などを支援します。	県営住宅やUR都市機構住宅、特定優良賃貸住宅などの募集案内の配布、情報提供を行いました。	住宅営繕課
6103	公共施設のバリアフリー化、子育て設備の設置促進	「バリアフリー法」などに基づき、公園や公共施設のバリアフリー化や公共施設においてベビーベッドやベビーカー、授乳室の設置など子育て家庭などに配慮した整備をします。	赤ちゃんの駅においてベビーベッドやベビーカー、授乳室の確保など子育て家庭などに配慮した整備をしています。	こども課
6104	赤ちゃんの駅の設置	乳幼児を持つ親子が安心して外出できる環境整備と子育てに優しいまちづくりを推進するため、外出時に授乳やオムツ替えができる「赤ちゃんの駅」を、公共施設を中心に設置します。	赤ちゃんの駅の設置数は、私立の保育園等民間施設も含め63か所。	こども課
6105	建築物のバリアフリー化	「バリアフリー法」や「埼玉県バリアフリー条例」、「埼玉県福祉のまちづくり条例」に基づき、建築物を審査します。	バリアフリー法、埼玉県バリアフリー条例及び埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、建築物の審査を行いました。 審査受付件数：34物件	建築審査課

平成27年度実施事業報告書

番号	事業名	事業内容	平成27年度実施状況	担当
6201	交通安全教育の充実	子どもや子育てを行う親などを対象に、交通安全ルールの理解を深めることにより、重大な交通事故から回避するための交通安全教育を行います。 交通指導員や交通安全ボランティアのスキルアップを行います。 交通事故ゼロをめざして、狭山警察署と連携を強化し、交通安全教室を通じ児童生徒の交通安全への意識を高めます。	親子を対象に交通安全教室を実施し、ビデオ視聴や徒歩・自転車・車での安全な通行方法等の講話を通じ、交通安全意識の高揚を図りました。 ※親子対象の交通安全教室実施回数：33回	交通防犯課
6202	交通安全に関する普及啓発	各期の交通安全運動における啓発活動の実施や小中学生を対象とした交通安全に関するポスターなどの募集により、交通安全の意識啓発をします。	各季節に実施している交通安全運動の実施や、交通安全作品(スローガン、ポスター、手紙)の募集等により、交通安全の啓発を図りました。	交通防犯課
6203	道路交通環境の整備	交通死傷事故の割合が高い地域から重点的に交通安全施設を整備します。 国・県道の歩道整備や交通規制について、関係機関に要望します。 「バリアフリー法」に基づき、幅の広い歩道の整備など、道路のバリアフリー化を進めます。	交通安全施設の整備を実施しました。 道路反射鏡新設：29基 区画線：5,125.71m 文字記号：4,580.08m (カラー含む)	交通防犯課
6203	道路交通環境の整備	交通死傷事故の割合が高い地域から重点的に交通安全施設を整備します。 国・県道の歩道整備や交通規制について、関係機関に要望します。 「バリアフリー法」に基づき、幅の広い歩道の整備など、道路のバリアフリー化を進めます。	歩道整備を実施しました。 市道幹第9号線 アスファルト舗装…176.3m 市道幹第44号線 アスファルト舗装…11.6m	道路雨水課
6203	道路交通環境の整備	交通死傷事故の割合が高い地域から重点的に交通安全施設を整備します。 国・県道の歩道整備や交通規制について、関係機関に要望します。 「バリアフリー法」に基づき、幅の広い歩道の整備など、道路のバリアフリー化を進めます。	関係機関に対し、国・県道の歩道整備等について要望を行いました。	街路整備課
6301	防犯に関する啓発	防犯対策に関する広報を適時行くとともに、全国地域安全運動期間や年末年始特別警戒期間などの機会を捉え、意識啓発をします。	地域ネットニュースをさやマルシェに掲載する等、防犯関連情報の提供に努めました。	交通防犯課
6302	地域防犯パトロール	警察や狭山地方防犯協会、地域防犯ネットワーク(APOC)、学校関係者などと連携し、地域における防犯パトロールを行います。	職員による防犯パトロールを実施しました。 各地区にパトロール用品を配布しました。 警備員による防犯パトロール(狭山地方防犯協会委託事業)を182回実施しました。	交通防犯課
6303	こども110番の家の推進	こども110番の家の設置を継続し、子どもが犯罪に巻き込まれないよう緊急避難場所を確保するとともに、地域の安全・防犯意識を高めます。	通学区内のこども110番の家を確認する活動や安全マップづくりなどで、児童生徒がそれぞれの地域にあるこども110番の家を知る活動を行い、いざというときに緊急避難場所になることの周知を徹底しました。	教育指導課
6304	防犯灯の整備	道路などに防犯灯を設置します。	自治会要望で防犯灯を79基設置しました。	交通防犯課
6305	防犯教室の実施	警察などの関係諸機関と連携し、学校、幼稚園における防犯対策を行います。	狭山警察署との連携による防犯教室、非行防止教室を全校で実施し、不審者情報提供の充実を図りました。	教育指導課